大曲厚生医療センターだより

発行月日　平成28年6月15日
発行責任者　後　藤　伸　一
No.23

基本理念

私たちは、安全で質の高い
患者様本位の医療を提供し
信頼される病院を目指します

基本方針

1. 常に医療の質の向上と安全な医療の推進に努め広く医療従事者の育成を行います。
2. 患者様の権利と意思を尊重し、十分な説明と同意に基づく医療を提供します。
3. 地域の医療・保健・福祉施設と緊密に連携し地域医療の充実に努めます。

ごあいさつ

大曲厚生医療センター
副院長（外科）　小　野　文　徳

外科医になってから今年度で23年目を迎えました。私が医学部を卒業した当時は今のような研修制度はありませんでしたので、卒業と同時に自分の進む科を決めた人がほとんどで、私も卒業時に外科を選んでそのまま現在に至っております。

外科は英語で surgery。「手で仕事をする」「手のわざ」という意味のギリシア語が語源となっています。まさに「外科＝手術」というわけです。手術には手先の器用さが必要であると思われがちですが、外科医がみな器用かというとそうではありません。実は、手術の上手さは手の器用さでは決まらないという研究報告もあります。では、器用さ以上に大切なものは何でしょうか。（以下、私個人の持論で何の根拠もありません）

手術の上手さを決めているのは脳です。手先の器用さも突き詰めれば脳と深く関係しますから、当たり前といえば当たり前ですね。しかし、手先の器用さと手術の上手さとは絶対にイコールではありません。手術の前に患者さんの病状やそれぞれの身体の解剖を十分に理解し、どこをどのように処理して手術を進めていけばよいのかを考えることは大変に重要な脳の仕事です。その上で、やろうとしていることを正確に行う手の動きが必要となります。やろうとしていることが間違っていれば、いくら手先が器用でも意味がありません。

外科医になったからには手術がうまくなりたいというのが外科医に共通の願いです。手術器械の使い方を反復練習することはもちろん大切ですが、手術の上達には脳の訓練が必須です。手術書を読み、患者さんの画像検査を吟味して頭のなかで手術のシミュレーションを行い、そして実際の手術に臨む。術後には必ず手術を振り返って自分のシミュレーションとの相違や修正しなければならない点を検証し、再び手術書で勉強し・・・の繰り返しです。手術に必要な脳を徹底的に鍛えることが何より重要となります。某病院で腹腔鏡手術の後に死亡例が相次いだことが大きく報道され問題となりましたが、あの執刀医らは手術が下手だったのでしょうか？私は「手先の器用さ」という点においては平均以上の能力を持っていたものと推測しています。彼らに足りなかったのは手術前後の脳のトレーニングです。なにがいけなかったのかを頭のなかで完全に解決できていない状態のまま次の手術に臨んでいたのだと思います。

私が医者になりたての頃、先輩の外科医に教わったのは「外科は脊髄反射だ。」でした。脊髄反射のごとく、あれこれ考えるより先に体が動くようになれという意味でしたが、薬物治療中心の内科医に比べて外科医はあまり頭を使わなくてもいいという意味も含まれていました。ところが、現代は医学知識が恐ろしいスピードで増えつづけていることに加え、外科で抗がん剤などの薬物治療を行う機会も激増し、外科医も「外科＝手術」などと言っているわけにはいかず、手術以外にもたくさん頭を使わなければならない時代になってしまいました。ちなみに、当科における昨年の手術件数は556件でしたが、がん化学療法施行件数はなんと2,116件。一昔前では考えられない数字です。手術もその他の治療も必要不可欠であり、どちらの治療のほうが良いとか悪いとかいう問題ではありません。それぞれの患者さんに最適な方法は何かを、やはり脳で考えながら治療をします。いつも脳のトレーニングをしながら日々の診療にあたっている外科医たちを、今後ともよろしくお願いいたします。

患者様の権利

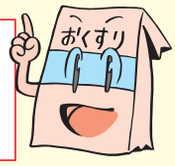
患者様の立場にたった医療を提供するため、以下の権利を尊重します。

1. 人格を尊重されて、丁寧で思いやりのある医療を受ける権利
2. 良質で安全な医療を公平に受ける権利
3. 医療の情報や説明を理解した上で、治療方針を自己決定できる権利
4. 診療に関する情報などのプライバシーを保護される権利
5. セカンドオピニオン（別の医師の意見）を求める権利

JA秋田厚生連
大曲厚生医療センター
秋田県大仙市大曲通町８－65
TEL 0187－63－2111（代表）
FAX 0187－63－5406
ホームページ
URL http://www.okmc.jp
E-mail info@okmc.jp

フレッシュさん登場

①職場・部署名
②出身地
③特技・趣味



阿部　滉（あべ　こう）

①臨床研修医師
②福島県相馬市
③旅行
　福島県の出身ですが、秋田の地に惹かれ、研修することを決めました。大曲のために少しでも力になればと思います。
よろしく御願い致します。

長谷川　航世（はせがわ　こうせい）

①臨床研修医師
②神奈川県横浜市
③パワーリフティング、日本酒、ラーメン
　４月から研修医としてお世話になる長谷川航世です。２年前の病院建て替えの前からこの病院で働きたいと思い念願が叶いました。地域の人々のため精一杯働きます。よろしくお願いします。

三浦　梨都子（みうら　なつこ）

①栄養科
②大仙市大曲
③音楽鑑賞
　生まれ育った秋田で勤務させていただくこととなり、秋田弁を耳にするとほっと致します。一日でもはやく仕事に慣れ、地域医療に貢献できる管理栄養士を目指し努めてまいります。よろしくお願い致します。

久木元　隆（くきもと　たかし）

①臨床研修医師
②東京都府中市
③テニス、将棋
　４月から研修医として勤務する久木元と申します。６年間の思い出の詰まった秋田で働けることを非常に嬉しく思います。お世話になった秋田の方々に少しでも恩返しができるよう、精一杯努力して参ります。よろしくお願い致します。

八柳　美沙子（やつやなぎ　みさこ）

①臨床研修医師
②秋田市
③読書、散歩
　４月から大曲厚生医療センターで研修させていただくことができ、嬉しく思います。育ててもらった秋田の地で精一杯働きます。
よろしくお願い致します。

佐藤　かんな（さとう）

①４階西病棟助産師
②湯沢市
③カラオケ
　山形の大学から秋田に戻り、夢であった助産師として働くことができ、嬉しい気持ちでいっぱいです。少しでも早く、大曲とこの職場に慣れていけたらと思います。これから、よろしくお願いいたします。

栗原　由騎（くりはら　よしき）

①臨床研修医師
②神奈川県横浜市
③野球、ゴルフ
　４月から臨床研修医師として働かせていただくことになりました。少しでも地域に貢献できるようにと早く一人前の医師になれるように頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

手賀　史（てが　ちかし）

①薬剤科
②横手市
③映画鑑賞
　４月から薬剤師として働かせていただくことになりました。まだまだ至らない点が多くあると思いますが、日々向上心を忘れず業務に取り組んでいきたいと思います。

長谷川　侑紀（はせがわ　ゆき）

①４階西病棟助産師
②美郷町千畑
③映画鑑賞、散歩、おいしい物を食べること
　自分の生まれた病院で助産師として働くことができることをとても嬉しく思っています。至らない点も多いと思いますが多くの事を学び一生懸命頑張りたいと思います。
よろしくお願いします。

古山　和樹（こやま　ともき）

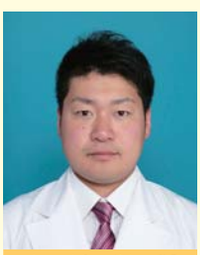
①臨床研修医師
②大分県大分市
③サッカー
　４月よりこちらで研修をさせていただくこととなりました古山です。日々努力を惜しまず頑張っていきたいと思っております。よろしくお願い致します。

菅谷　彰（すがや　あきら）

①臨床検査技師
②横手市
③映画鑑賞
　４月から臨床検査技師として働かせていただくことになりました。地元で働くことができ、とても嬉しいです。地域の人々に安心・安全な医療を提供できるように精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

村井　結香（むらい　ゆか）

①４階西病棟助産師
②由利本荘市
③映画鑑賞、料理
　今年から４階西病棟で勤務させていただくことになりました。“助産師になりたい”という夢を叶えることができ、とても嬉しく、不安もあります。まだまだ至らない点が多くありますが、笑顔で明るく、信頼して頂ける助産師になれるよう頑張ります。よろしくお願いします。



佐藤　将大（さとう　ゆきひろ）

①臨床研修医師
②湯沢市
③野球、ハンドボール
　４月から研修させて頂くことになりました。地元の秋田で働くことが出来てとても嬉しく思います。精一杯頑張り、日々成長したいと思います。
よろしくお願いします。

本間　智里（ほんま　ちさと）

①臨床検査技師
②横手市雄物川
③音楽鑑賞
　大学進学で一度秋田を離れましたが、またこうして戻ることができ嬉しく思っています。患者様に安全・安心の医療を提供しつつ、いつも笑顔で頑張っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

奥山　裕子（おくやま　ゆうこ）

①５階西病棟看護師
②仙北市角館町
③飲み・食べ歩き
　昨年より働かせていただいております。新たな気持ちで学び、患者様の心に寄り添える看護師になれるよう頑張ります。
ご指導、よろしくお願い致します。

今野悠香（こんの はるか）

①５階東病棟看護師
②秋田市
③スポーツ観戦
今年から５階東病棟で勤務させていただくことになりました。初心を忘れず、患者さんの立場に立った温かい看護師になれるように頑張ります。まだまだ至らない点も多いかと思いますが、よろしくお願い致します。

鈴木杏奈（すずき あんな）

①７階東病棟看護師
②仙北市田沢湖
③映画鑑賞、カラオケ
７階東病棟で勤務させていただくことになりました。患者さんに何が出来るのかを常に考えていきたいと思います。よろしくお願いします。

若狭莉子（わかさ りこ）

①６階西病棟看護師
②秋田市
③音楽鑑賞、ドライブ
大好きな秋田で働くことができ、とても嬉しいです。不安もありますが、つねに思いやりの気持ちを忘れず、患者様に安心を与えられる看護師になれるよう、一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。

伊藤美幸（いとう みゆき）

①５階東病棟看護師
②大仙市南外
③ドライブ
昨年６月から臨時職員として雇用していただいておりましたが４月から正職員として引き続き、５階東病棟に勤務させていただくことになりました。今後も学ぶ姿勢とチームワークを大切に、大曲厚生医療センターの一員としての自覚をもって頑張りますので、よろしくお願い致します。

斉藤叶子（さいとう かなこ）

①６階東病棟看護師
②美郷町仙南
③音楽鑑賞
６階東病棟で勤務させていただくことになりました。患者様に寄り添った看護が出来るよう日々取り組んでいきたいと思います。笑顔を大切にし、精一杯頑張ります。よろしくお願いします。

渡邉真帆（わたなべ まほ）

①７階西病棟看護師
②大仙市中仙
③スポーツ観戦
生まれ育った地域で看護師として働くことができて大変うれしいです。地域のみなさんの力になることができるよう日々精進していきたいと思います。よろしくお願いします。

佐藤真未（さとう まみ）

①７階東病棟看護師
②大仙市大曲
③スポーツ観戦
今年から７階東病棟で勤務させていただくことになりました。生まれ育った地に戻ってくることができて嬉しいです。至らない点もたくさんありありますが、笑顔・感謝・思いやりの心を忘れずに日々成長していきたいと思います。よろしくお願いします。

武藤利歩（むとう りほ）

①５階東病棟看護師
②大仙市協和
③バレーボール、音楽鑑賞
今年から５階東病棟で勤務させていただくことになりました。患者様の思いに寄り添い、思いやりの心を忘れず笑顔で明るくよりよい看護を提供できるよう一生懸命頑張っていきたいと思います。よろしくお願い致します。

福田直人（ふくだ なおと）

①７階西病棟看護師
②大仙市西仙北
③スポーツ観戦、音楽鑑賞
今年から７階西病棟で勤務させていただくことになりました。患者様の思いに寄り添い、信頼して頂けるように日々努力していきたいと思います。よろしくお願い致します。

斎藤麻未（さいとう あさみ）

①４階東病棟看護師
②大仙市大曲
③旅行
生まれ育った大曲に勤務させていただくことになりました。自分が産まれた病院でもあり、今までお世話になってきた病院なので、日々学びながら、微力ではありますが、恩返しをしていきたいです。よろしくお願いします。

川村彩乃（かわむら あやの）

①５階東病棟看護師
②大仙市大曲
③バレーボール、旅行
５階東病棟で勤務させて頂くことになりました。生まれ育ってきた大好きな地元で働けることを嬉しく思います。「感謝」の心を忘れず、日々学び努力し、一日でも早く看護師として地域の皆様のお役に立てるよう頑張ります。

落合麻子（おちあい あさこ）

①７階東病棟看護師
②秋田市
③映画・ＤＶＤ鑑賞
７階東病棟に勤務させていただくことになりました。初心の気持ちを忘れず、日々学んでいきたいと思っています。色んな出会いを大切にしていきたいです。よろしくお願いします。

高橋成美（たかはし なるみ）

①５階西病棟看護師
②湯沢市
③ピアノ、ペット
生まれ育った秋田県で看護師として働けることになりとても嬉しいです。地元の方のために日々勉強し、少しでも早く役に立てるよう頑張ります。よろしくお願いします。

中田純奈（なかた じゅんな）

①４階東病棟看護師
②美郷町仙南
③スキー、音楽鑑賞
今年から４階東病棟で勤務させていただくことになりました。いつも笑顔を忘れず、地域の皆様に安心して頼っていただけるような看護師になれるよう頑張ります。初めは力不足な点もあるかと思いますが、よろしくお願い致します。

小田長将人（おだなが まさと）

①医事企画課
②美郷町
③サッカー、合気道
医事企画課で勤務させていただくことになりました。地元で働くことができることに喜びを感じています。多くのことを学びながら精進していきたいです。よろしくお願いします。

佐藤裕（さとう ゆう）

①６階西病棟看護師
②大仙市南外
③バスケットボール
音楽鑑賞、散歩
６階西病棟で勤務させていただくことになりました。患者様に安心感を与え、信頼が得られるような看護師を目指し、日々努力を重ねてまいりたいと思います。まずは基本を大切にしながら頑張っていきたいと思います。よろしくお願い致します。

吉方千晶（よしかた あき）

①６階西病棟看護師
②美郷町仙南
③音楽鑑賞、楽器演奏
４月よりこちらの病院で働かせていただくことになりました。知識不足な点も多いですが、常に笑顔を絶やさず心身ともに患者様、ご家族を支えることができる存在に一日でも早くなれるよう精進していきます。よろしくお願いします。

高橋由紀（たかはし ゆき）

①医療福祉相談室
②横手市
③音楽鑑賞
医療福祉相談室で勤務させていただくことになりました。地元秋田で夢であった医療ソーシャルワーカーとして働けることに喜びを感じています。皆様から信頼していただき、気軽に相談できる相談員になれるよう励んでまいります。よろしくお願い致します。

こんにちは臨床工学科です

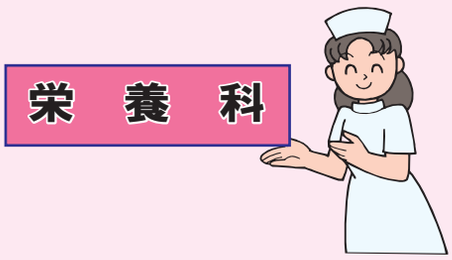
臨床工学科は、独立部門としてはまだ５年しか経っていない新しい部署となります。前身はＭＥセンターという名称で10年ほど前から設立されていました。現在は、臨床工学室と名称を変え、病院の３階フロアーに設置されています。そこに私たち臨床工学技士７名が在籍しています。スタッフの年齢構成は、20歳台から50歳台と幅広く、チームワークを大切にして業務にあたっています。また、昨年には初めて女性技士が１名入職し、職場が少し華やかになったように感じています。

私たちの仕事は、医療機器の操作および保守点検を行うことです。病院の中には、病気に対する治療や診断などに使用するたくさんの医療機器があり、これらの医療機器が現在の高度医療を支えているといっても過言ではないと思います。特に生命維持管理装置といわれる、人工呼吸器や除細動器、麻酔器、保育器、血液浄化装置などは、生命の維持に直結する重要な機器であり、日々のメンテナンスがとても重要で、特に慎重な保守が求められます。他にも、輸液ポンプ（点滴を定量で落とす機器）やシリンジポンプ（注射器で薬剤を定量入れる機器）、心電モニタ（心電図を測定する機器）など、入院すると使用することの多い機器の管理もしています。そして、これらを一括管理して、効率的で適切な運用ができるようにしています。現在は、院内にある600台ほどの医療機器を扱っています。

私たちは医療機器の管理だけではなく、院内の色々な部署に出向いて機器の操作を行っています。たとえば、慢性腎不全の方々を治療する人工透析室、心筋梗塞に対するカテーテル検査や脳血管のカテーテル治療などを行う血管造影室、麻酔器やレーザー装置などを扱う手術室などです。このような様々な分野で、医師や看護師などとともにチーム医療の一員として働いています。

私たちが医療機器を扱う上で大切にしていることは、その機器の向こう側には常に患者様がいることを決して忘れず、思いやりを持って患者様に接し、安全で安心のできる治療を提供することです。これからも、日々進歩を続ける医療機器の専門家として、これら機器の操作と管理を確実に行うことで、医療の質の向上と安全確保に努めてまいります。今後とも宜しくお願い致します。

栄養科を紹介します



栄養科は診療部門に属しており、管理栄養士５名、調理員26名で構成されています。

病院食は約50食種あり､年齢別や様々な疾患に対応しています。

また嚥下機能など、病態に合わせて食べやすい食形態にしたり、ユニバーサルデザインの食器も一部に用いています。

新病院では温冷配膳車が導入になり温かい料理と冷たい料理が適温で病室までお届けできるようになりました。

当科では季節の食材や行事に合わせた料理を献立に取り入れた「行事食」を毎月行っています。同時にメッセージカードを添えたり、見た目にも楽しんで頂けるよう和紙でできたマットをお膳に敷いて食事を提供する事もあります。そして、納豆汁やきりたんぽなど地域に伝わる郷土料理、当院で出産された妊婦様へのお祝い膳、お誕生日を迎えられた患者様へのバースデーデザート、手づくり低カロリーデザートの提供など、少しでも食べる楽しみを伝えられるよう取り組んでいます。

時折､患者様より「美味しかった」「献立や味付けを参考にしようと思った」など直筆で感謝のメッセージを頂くことがあり、スタッフ一同大変うれしく、その言葉に励まされています。

管理栄養士の業務として、医師の指示のもと、外来と入院の患者様、そのご家族を対象に個別に栄養指導・相談を行っています。当院の２階に栄養相談室がありますが、入院中の患者様へは病床へ訪問して行う事も多くあります。摂食･嚥下機能障害､低栄養状態､がん患者様への指導も行っています。実際の指導では患者様のライフスタイルも含めてじっくりお話を伺いできることを見つけ､無理せず､少しずつ食生活の改善と継続ができるようなサポートと、作り手の立場に立って考え、実生活で実践しやすい工夫を提案して負担の軽減が図れるよう努めています。

尚、栄養指導のご利用につきましては予約制で１回約30分程度です。

その他チーム医療へも参加しており院内の様々なチームで他職種と連携しながらきめ細やかな栄養管理ができるよう日々頑張っています。

食事は生活をするなかで最も身近で、身体を作るうえで重要な役割を果たしています。食事の大切さ、楽しさを伝えることができる栄養科でありたいと思います。

みなさんこんにちは 外来を紹介いたします。

外来　１階

当院の外来は、１階、２階で19の診療科標榜をもち診察・診療がおこなわれています。一日平均840人程の地域の皆様が、病気の不安や痛みを抱えて受診されます。そんな地域の皆様が安心して受診していただけるように医師はじめ看護師、事務、クラーク等の多職種が連携を持ちながら協働し、診察・診療がスムーズに行われるように毎日奮闘しております。

では、１階から紹介します。１階は３つのブロック（A･B･C）に分かれて診療が行われています。

Aブロックは、内科･消化器科の２科で、内科は血液･腎･膠原病･内分泌疾患･感染症の診療を行っています。消化器科は、食道･胃･大腸の各種消化器疾患に対する内視鏡検査と治療を行っています。患者さんが安全・安楽に検査・治療が受けられるように、内視鏡室スタッフとの連携・協力を図ってケアを行っています。

Bブロックは循環器科・呼吸器外科・整形外科の３科で、循環器科は心臓や血管の病気（狭心症・心筋梗塞・心不全・不整脈・閉塞性動脈硬化症）、生活習慣病の治療を行っています。緊急心臓カテーテル検査・治療、ペースメーカー植え込み手術も行っています。呼吸器外科は、診察日が月・水・金に限られています。胸部外傷・気胸・膿胸の治療、肺がんの早期発見と外科治療を行っています。整形外科は、背骨や上下肢の運動器に生じた外傷や加齢変化・腫瘍・感染・先天性疾患の治療を行っています。いつでも外科的緊急対応ができるように緊張感をもちながら､診察介助にあたっています。

Cブロックは、脳神経外科・外科の２科で、脳外科は、脳卒中・頭部外傷・脳腫瘍・てんかんなどの治療を行っています。外科は、地域がん診療連携拠点病院の外科として、消化器疾患を中心として乳腺、甲状腺疾患などの治療を行っています。手術決定から入院までの患者様・ご家族の不安は大きく、少しでも緩和できるよう受診時のコミュニケーションを大切にしています。

Cブロックの一角にあるスキンケア室では、皮膚排泄ケア認定看護師というスペシャリストが、褥瘡処置のアドバイスや、大腸がんで人工肛門造設患者の皮膚トラブルの対応、生活上の相談にのっています。

また、皮膚トラブルが発生しやすい糖尿病患者様を対象とした足浴やマッサージ・爪の周囲の処置などを行い、相談やケアにあたる日本糖尿病療養指導士による「フットケア外来」も行っています。

外来診療のみならず地域の皆様が疾患と付き合いながら療養生活が出来る様お手伝いもしています。

２階を紹介します。２階は３つのブロック（D･E･F）に分かれて診療が行われています。

Ｄブロックは、緩和ケア科・眼科・歯科口腔外科の３科で、緩和ケア科については、現在では地域の皆さまにも大分浸透されてきているのではないでしょうか。がん患者様の「からだ」と「こころ」のつらさに対して、コントロールができるようケアを行っています。眼科は、常勤医師不在のため、火・木曜日の診察に限られ、診察受け入れには他施設からの紹介状を必要とし、地域の皆さまにはご不便をおかけしている現状です。

Ｅブロックの産婦人科・耳鼻咽喉科・皮膚科の３科で、産婦人科では、安心して出産が迎えられるよう出産前の妊婦健診から出産後のフォローまでを外来助産師と病棟助産師が連携・協力を図りながら、相談・指導にあたっています。また、婦人科では女性特有の問題を抱えた患者様に対して、安心して診察、治療に専念できる環境の提供に努めています。耳鼻咽喉科では、耳・鼻・咽頭・喉頭・唾液腺・甲状腺の疾患の治療を行っています。顔面･頸部の外傷にも対応しています。皮膚科は、他施設からの応援医師により、火･水・金曜日の完全予約制の診察を行っています。

Ｆブロックの小児科・泌尿器科の２科で、小児科は、発熱や気管支炎などをはじめとする診察や一般診療のほか、特殊外来として、心臓血管外科外来・慢性疾患外来・神経外来の診療や、各種の予防接種を行っています。受診される子供、両親とのコミュニケーションを大事にして診療介助を行っています。最後になりましたが、泌尿器科では、副腎と尿路（腎・腎盂・尿管・膀胱・尿道）及び男性生殖器（精巣・前立腺）の診断・治療を行っています。また、腹圧性尿失禁や骨盤臓器脱などを代表とする女性泌尿器科分野にも対応しています。

これまで外来の診療科について紹介してきましたが、なんといっても患者様が多い１階は、朝早くから待合椅子が不足してご迷惑をおかけしていました。しかし、外来予約制度が発足して３年が経過しようとしている現在では、そのような光景も大分少なくなり、地域の皆様にもご理解いただけるようになったと感じるこの頃です。

また、新病院移転後から導入することができた患者呼び出し機の利用も定着し、今では患者様から「ベルを貸して」と声をかけられるほどになりました。外来を受診される患者様は一日に複数科を受診される方が少なくありません。他の受診科からいつ呼ばれるか心配せずに安心して診察を受けることができるようになりました。

しかし、予約外の患者様には、診察までにまだまだお待たせいただくことが多いです。体調が優れない患者様が長時間待たされてはいないか、患者様の様子を観察しお声をかけながら、快適に診察を受けられ治療が施行できるよう外来スタッフ一同、患者様･ご家族への気配りを忘れず「笑顔の対応」をモットーにこれからも日々努力してまいります。

れんけい室タイムズ 「Face to Face」 Vol 17

1 室長あいさつ

副院長（脳神経外科）
佐々木　順　孝

この病院だよりの原稿を書いている今は、ちょうど５月下旬で、小満の頃です。

小満は立夏から数えて15日目あるいは芒種までの期間をいい、今年は５月20日から６月５日までをいうようです。陽気が良くなって、万物の成長する気が次第に長じて天地に満ち始めることから小満といわれています。１年のうち、５月から６月が秋田で一番過ごしやすいように思うのは私だけでしょうか。

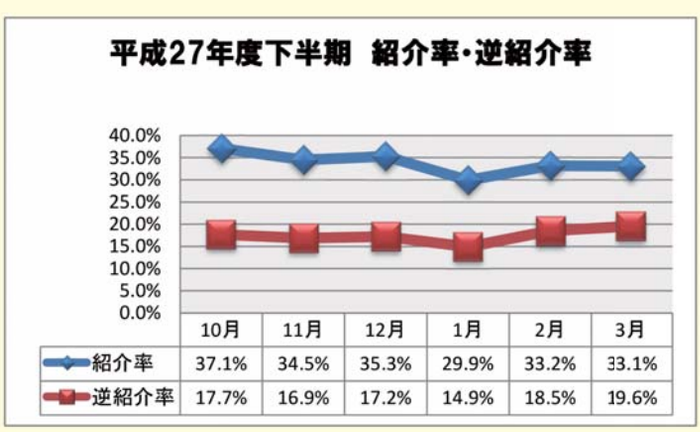
連携室が発足してから、早いもので12年になりました。開設当初は、連携室を院内外に浸透させようと一生懸命に宣伝したり、開業医のできる事、難しいことを院内の先生に理解してもらったりするための資料を作ったり、「れんけいのつどい」といって、院内外の先生たちが一同に会して懇親を深めたりする会を開催したりして、とにかく顔の見える連携や相互理解を目指しました。お蔭さまで、以前に比べて、病院と診療所の先生たちの間の敷居一段と低くなったように思えて、地域医療における病診連携に幾ばくかの貢献ができたのかと自負しています。

私が連携室や、自分の診療科を運営していく上で、ずっと気を付けていることがあります。実に簡単な言葉ですが、それはひらがなの「わ」です。「わ」はいろいろな漢字に変換できます。一つは平和や調和の「和」であり、なごみや癒し、そしてバランスのイメージです。またリングの「輪」でもあり、連携や連帯を想像させます。話の「話」で言葉を使ったコミュニケーションでもあり、「環」で環境も重要です。そしてそもそも忘れてならないのが、自分自身を表す「吾」です。自分を大切にできない人に他人を大切にはできません。自分を大事にしたうえで、他人にも優しくできるそんな連携でありたいと思っています。

この５つの「わ」を今後も大切にして、大曲厚生医療センターの地域医療連携室がますます発展していくことを祈念しております。

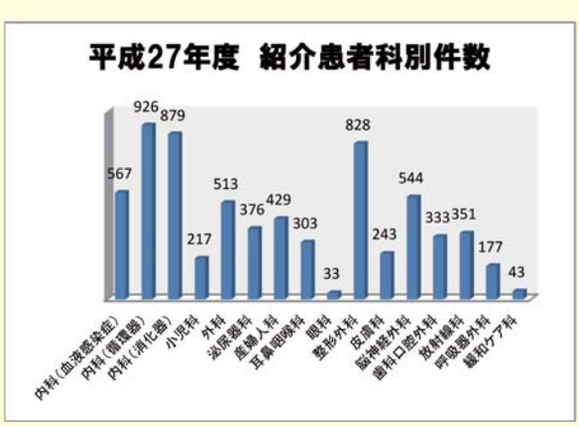
2 実 績 報 告

平成27年度下半期の紹介率・逆紹介率と平成27年度の紹介・逆紹介患者科別件数をまとめグラフにしました。



	10月	11月	12月	1月	2月	3月
紹介率	37.1%	34.5%	35.3%	29.9%	33.2%	33.1%
逆紹介率	17.7%	16.9%	17.2%	14.9%	18.5%	19.6%

10月から３月までの平均紹介率は33.９％、平均逆紹介率は17.５％でした。



平成27年度紹介患者総数は6,762人、逆紹介患者総数は4,953人でした。

「新生活を送る方へ」

副院長　看護部長　**伊　藤　富貴子**

新緑の美しい爽やかな季節になりました。

暖冬であった今年はインフルエンザの流行が平年よりも遅くゆるやかで、その影響でしょうか５月の半ばにもインフルエンザＢ型が検出されていました。

院内では、感染予防対策に対する職員の意識と実践力も高まり、また入院中の患者様やご家族・面会にこられる皆様のご協力もあり、入院中の患者様の間で流行することなく、療養して頂くことが出来ましたことに安堵しております。

皆様のご家庭や職場は大丈夫でしたでしょうか。

さて、春は新旧交代の時期であり、新生活スタートの時期でもあります。

入学や就職、転勤、職場内での異動などにより、住まいや生活スタイル、役割や人間関係など、自分を取り巻く環境が大きく変化した方々が大勢いらっしゃると思います。

スタートから間もなく２か月になりますが、新生活への期待感や将来への夢を膨らませる一方で、緊張や慣れない環境によりストレスを感じたり、疲れが出てくる頃かと思います。

同じような環境の中にいてもストレスを受けやすい人とそうでない人がいるのは、ものの見方や感じ方は人それぞれであり、原因や症状、その限界も人により異なるからだと言います。

まずは、普段の健康な自分の状態を知り、何か変化が起きた時に、いつもの自分と違うことに気づくことが大切です。そして、しっかり食べること、眠ること、オンとオフを切り替えてメリハリをつけた生活スタイルを心がけて、一人で悩まないで身近な人に話を聴いてもらうだけでも心が軽くなることがあると思います。

今年、看護部には20名のフレッシュな職員が仲間入りしました。

私達看護師は、24時間365日患者様一人ひとりの療養生活を支えるために、次の勤務者へ途切れなくバトンをつないでいます。

医療チームとして地域の皆様に信頼していただけるように、看護の質を高めながら次世代を担う職員を育成してまいりますのでこれからも宜しくお願い致します。

トピックス

【泌尿器科手術におけるレーザー治療】

診療科長（泌尿器科）　**熊　澤　光　明**

トピックスというほど新しい話ではないのですが、泌尿器科手術においてホルミニウムレーザーを使用した手術が標準手術になりつつあります。特に年々患者数も増加している尿路結石に対する治療にレーザーは威力を発揮します。従来は結石を破砕する機器はリソクラストという機器が主流でした。この機器は工事現場で使用する削岩機と同様な仕組みで結石を破砕する機器です（現在も結石の状況、術式により使用します）。レーザーの最大のメリットは構造上細径であるため、細い内視鏡を併せて使うことで腎臓内の結石まで治療することが可能になりました。内視鏡のみでできるので体表面を傷つけることなく治療することができます。

また、前立腺肥大症の手術にもレーザーを使用する治療がひろまりつつあります（Holep手術）。内視鏡下にレーザーで肥大した腺腫をくり抜くように核出します。従来の電気メスで切除する方法（TUR-P）よりも出血が少なく確実に腺腫を摘出できます。また、従来開腹手術が必要な非常に大きな前立腺肥大に対しても対応可能であり低侵襲で安全性の高い手術です。当院では尿路結石、前立腺肥大症に対してレーザーを用いた手術を行っています。

ためになる話

廃用症候群

廃用症候群は「身体の不活動状態により生ずる二次的障害」を体系化された概念で、不動（immobilization）や低運動（inactivity）、臥床（bedrest）に起因する全身の諸症状を総称です。西洋医学においては、1940年代以前までは治癒するまでは安静臥床の考えが基本でしたが、1940年代以降は早期からの離床の重要性が報告されてきました。1690年代からは安静臥床の弊害が実証されてきました。このころから国内でも「廃用症候群」の用語が広まりました。

●廃用症候群の要因

主に内的（一次的）要因：罹患している疾患に付随した身体症状、精神症状による不動が続く場合（例：麻痺、疼痛、息切れ等）と、外的（二次的）要因：外部環境が身体活動を制限しているために不動の状態が続く場合（例：安静指示、介助者の不在等）に分類されます。

●廃用症候群の症候

身体の運動の表出・持続・調整には、筋骨格系、循環・呼吸器系、内分泌・代謝系、精神神経系の多臓器がかかわっており、内的要因・外的要因を契機に多臓器の不活動状態が長期化すると、機能低下の悪循環が生じ、多彩な症候を呈します。

1. 筋骨格系　①筋力低下、筋委縮　②骨萎縮　③関節拘縮
2. 循環器系　①運動耐容低下　②起立性低血圧　③静脈血栓
3. 呼吸器系　①換気障害・沈下性肺炎
4. 消化器系　①体重減少・低栄養・食欲低下・便秘
5. 泌尿器系　①尿路結石・尿路感染
6. 精神神経系　①鬱・せん妄・見当識障害・睡眠覚醒リズム障害

これらは、入院期間中だけではなく、在宅や施設における活動量の低下も原因となりえます。

●廃用症候群予防の重要性

この廃用症候群は予防することが可能です。1日臥床するだけでも、筋力は1～1.5％低下するといわれています。その改善ためには、できるだけ早期に発見し、リハビリテーション（運動）等を開始して、体力（運動機能）や意欲などのメンタルヘルス（精神保健）の向上させることはで、健康増進や生活機能が向上し、疾病の重篤化予防や、転倒予防、介護予防（生活機能低下予防）に効果があり、廃用症候群の予防・改善に役立ちます。

また、必要に応じて、生活現場におけるマンパワー、家屋・自宅周辺環境、社会的サービスの導入検討等の総合的対策にも注目する必要があります。

診療案内　外来診療担当医一覧

《土・日曜日と祝祭日は全科休診です》

平成28年5月9日現在

診療科	月	火	水	木	金	受付時間
内科（血液・感染症）	仁村　隆	仁村　隆	仁村　隆	三田亜紀子	仁村　隆	8:30～11:00 糖尿病外来新患診療（木）
	山口　昭彦	茂木　睦仁	秋田大学	山口　昭彦	茂木　睦仁	
	腎臓病外来 加賀一・齊藤雅也（各週交互の診察）	－	－	腎臓病外来 小松田　敦	－	
	－	糖尿病外来 高嶋　悟	－	糖尿病外来 大友　瞳	糖尿病外来 安藤清香	
内科（循環器）	加藤　結花	秋田大学	加藤　結花	－	秋田大学	8:30～11:00 新患診療（月・水・金）
	－	加藤　結花	－	佐々木一哉	加藤　結花	8:30～11:00 再来完全予約制
	－	呼吸器・アレルギー（秋田大学）	－	－	呼吸器・アレルギー（秋田大学）	火13:00から予約制 金11:00まで予約制
	－	－	心臓血管外科（秋田大学）	－	－	8:30～11:00予約制
内科（消化器）	三浦　雅人	三浦　雅人	三浦　雅人	沖口　将夫	肝外来 三浦雅人	8:30～11:00
	堀井　亨	沖口　将夫	秋田大学	堀井　亨	沖口　将夫	
	－	－	－	秋田大学	☆神経内科 菅原正伯	☆神経内科完全予約制
小児科	五十嵐希世志	深谷　博志	五十嵐希世志	深谷　博志	深谷　博志	8:30～11:00
	大村　映子	吉田秀一郎	吉田秀一郎	大村　映子	大村　映子	
	小山　勝幸	小山　勝幸	小山　勝幸	☆神経外来 矢野珠巨	吉田秀一郎	☆8:30～11:00予約制
	－	－	－	－	☆心臓外来 秋田大学	☆第1・3（金）予約制 13:30～
外科	小野　文徳	大村　範幸	佐瀬　友彦	小村　俊博	田山　穂高	8:30～11:00 （木）腫瘍内科（秋田大学）
呼吸器外科	中川　拓	－	中川　拓	－	中川　拓	8:30～11:00
	工藤　智司	－	工藤　智司	－	工藤　智司	病棟業務終了次第診察
泌尿器科	熊澤　光明	神崎　正俊	熊澤　光明	熊澤　光明	神崎・灘岡（各週交互の診療）	8:30～11:00
	灘岡　純一	灘岡　純一	神崎　正俊	今村専太郎	今村専太郎	
産婦人科（婦科）	山本　博毅	長尾　幸	長尾　大輔	山本　博毅	長尾　大輔	8:30～11:00
	長尾　幸	－	長尾　幸	平川　威夫	山本　博毅	
産婦人科（産科）	平川　威夫	山本　博毅	平川　威夫	長尾　大輔	長尾　幸	
耳鼻咽喉科	垂石　羊司	垂石　羊司	垂石　羊司	垂石　羊司	秋田大学	8:30～11:00
	横溝　道範	横溝　道範	横溝　道範	秋田大学	横溝　道範	
整形外科	魚住　弘明	佐藤　心一	佐藤　心一	洞口　潔	佐藤　心一	8:30～11:00
	後藤　伸一	菅原　恒	後藤　伸一	後藤　伸一	魚住　弘明	
	洞口　潔 10:30～古口昌志	増田　雄史	魚住　弘明	菅原　恒	増田　雄史 10:30～古口昌志	
皮膚科	－	秋田大学	秋田大学	－	秋田大学	完全予約制
脳神経外科	佐々木順孝	佐々木順孝	佐々木順孝	大前　智也	佐々木順孝	8:30～11:00
緩和ケア科	秋山　博実	－	秋山　博実	秋山　博実	－	完全予約制
放射線科	－	安倍　明	－	－	－	9:00～11:00
歯科口腔外科	鈴木　靖子	鈴木　靖子	鈴木　靖子	鈴木　靖子	鈴木　靖子	完全予約制 急患は要連絡 8:30～11:00
	角田　直子	角田　直子	角田　直子	角田　直子	角田　直子	
	－	－	－	岩手医科大学（口腔外科）	－	